

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「短編集『空から女の子が落ちてきて』」 テーマ:「空から落ちてきた魔法少女なのに、落下のケガで死んじゃっている美少女」

キャラクター

30

ストーリー

25

テーマ(設定)

30

文章力

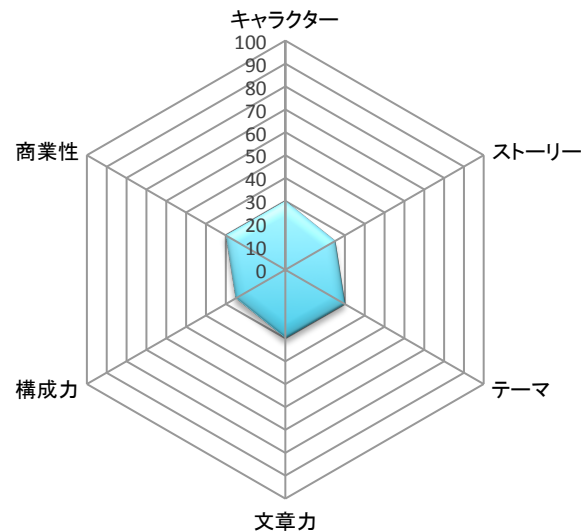
30

構成力

25

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・個人的に一番面白いと感じた短編は「空から女の子が」。最初に読んだ作品だったからという点もあるかもしれないが、魔法少女ネタかと思いきやまさかの一般人という展開が面白かった。ふわふわと降りて来たと思わせて実は重力に任せられた現実的な自由落下だったというギャップがいい。ただ電話には出ているので、頭をうったがしばらくは生きていて、明け方には死んでしまっていたということ? 少し解釈が難しい。

・やはりやるなら、掌編の組み合わせが実は一つの短編になっていたなどが掌編住人の短編企画での戦い方ではなかったらうかと少しもったいなさを感じる。(一つの短編小説としての評価点数になるため、単独の話は面白いのだが繋がりがという面でかなり低い点数となる。ご理解の程よろしくお願いします。ちなみに二番目に好きだったのは「人喰い」でした)

合計加点ポイント 0

総得点: 170 / 600

B方式総合得点: 4817 点